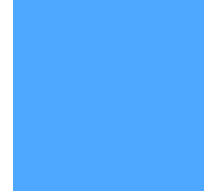
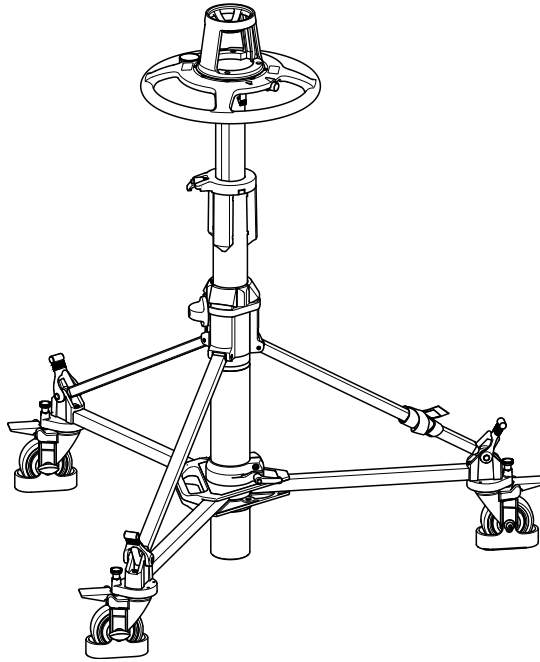


# 操作ガイド

## Vision Ped *Plus*



## Studio Pedestal



**Vinten**  
Camera Control Solutions

---

# **Vision Ped *Plus***

## **Studio Pedestal**

**Publication Part No. 3951-8      Issue 1**

Copyright © Vinten Broadcast Limited 2002

All rights reserved throughout the world. No part of this document may be stored in a retrieval system, transmitted, copied or reproduced in any way including, but not limited to, photocopy, photograph, magnetic or other record without the prior agreement and permission in writing of  
Vinten Broadcast Limited.

Vinten and Vision are registered trademarks of Vinten Broadcast Limited.

---

---

## 安全について - 最初にお読みください

### この取り扱い説明書の警告記号



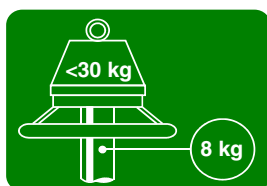
使用者や他人に傷害を与えたり、ペDESTALや関連機材を損傷するリスクがある場合には、警告を示す三角形の記号と「警告！」の文字で強調したコメントが記載されています。

### ペDESTALに付けられている警告記号



警告を示す三角形または開いた本の記号が示されている場合には、このペDESTALを使用したり調整や修理を行う前に必ずこの取扱ガイドを参照してください。

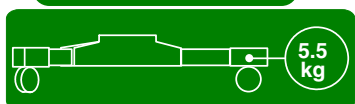
## 重要データ



### 重量

コラム  
スキッド

8 kg (17.6 ポンド)  
5.5 kg (12.1 ポンド)



### 荷重

最大荷重

30 kg (66 ポンド)



### 圧力

最大圧力

9.6 bar (139 psi)

---

## 詳細情報

このペDESTALについての詳細情報およびアドバイスについては、Vinten Broadcast Limited または地域のVinten販売店（裏表紙を参照）にお問い合わせいただくか、弊社 Web サイトを参照してください。

メンテナンスおよびスペア部品の詳細については、「Vision Ped Plus メンテナンスマニュアル」と「イラスト付き部品リスト」（部品番号 No. V3951-4990）を参照してください。これらのマニュアルは、Vinten Broadcast Limited または地域の Vinten 販売店で入手できます。オンライン情報については、弊社の Web サイトを参照してください。

[www.vinten.com](http://www.vinten.com)

## 技術データ

荷重	30 kg (66 ポンド)
コラム重量	8 kg (17.6 ポンド)
スキッド重量	5.5 kg (12.1 ポンド)
ペDESTAL総重量	13.5 kg (29.7 ポンド)
100 mmボールアダプタ取り付け面までの最低高	75.1 cm (29.6 インチ)
100 mmボールアダプタ取り付け面までの最大高	159.5 cm (62.8 インチ)
フラット取り付け面までの最低高	63.7 cm (25.1 インチ)
フラット取り付け面までの最大高	148.1 cm (58.3 インチ)
オンショットストローク	41.0 cm (16.1 インチ)
ホイール直径	10.0 cm (4 インチ)
スキッド脚半径	55.85 cm (22.0 インチ)
ドアウェイトラッキング幅	95.6 cm (37.6 インチ)
トランジットドアウェイ幅	73.3 cm (28.9 インチ)
ステアリングリングの直径	35.0 cm (13.8 インチ)
最大動作圧	9.6 bar (139 psi)
リリーフバルブ圧	11.0 bar (160 psi)

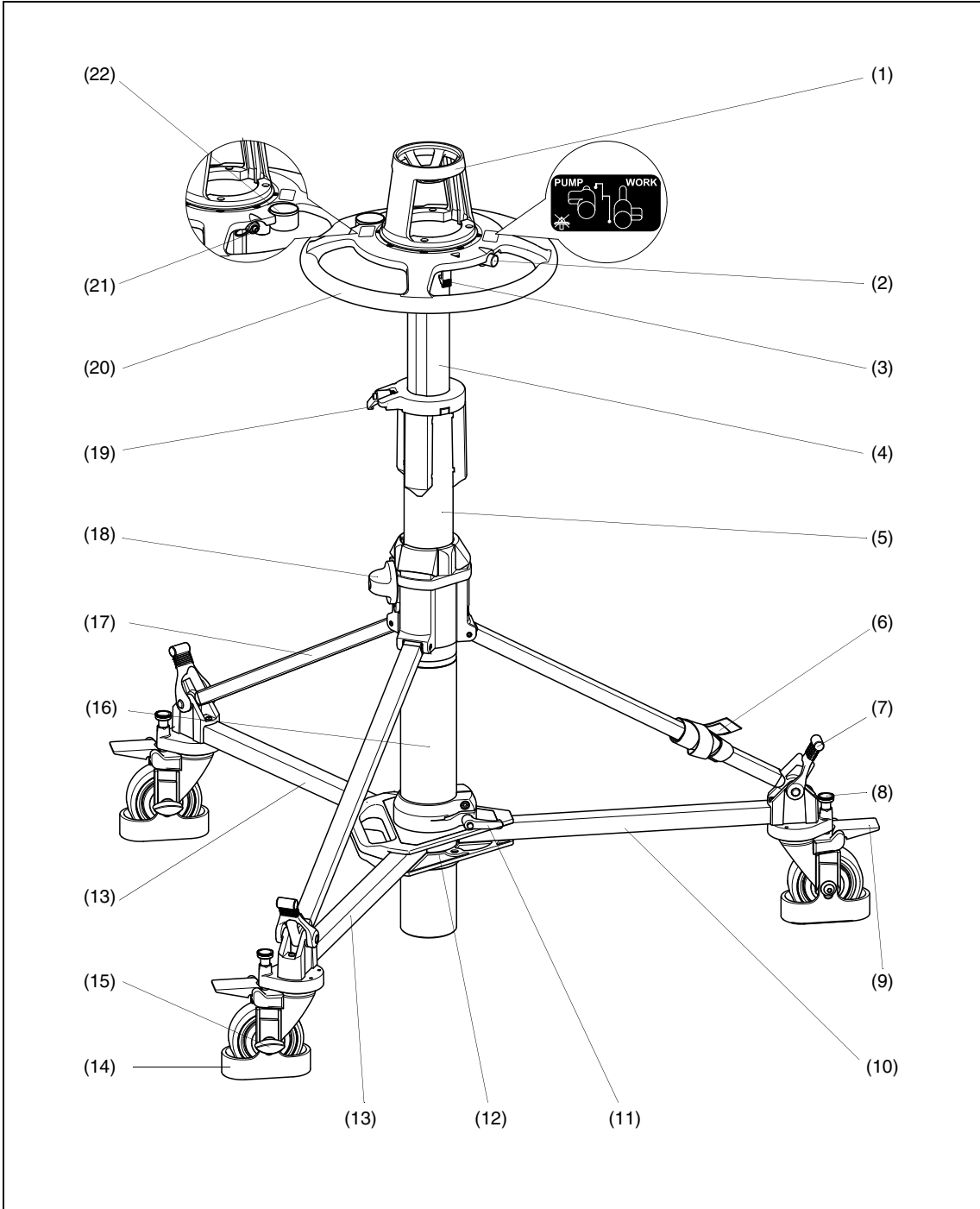
---

# 目次

	ページ
安全について - 最初にお読みください	3
重要データ	3
詳細情報	4
技術データ	4
目次	5
はじめに	8
操作	9
ペDESTALの組み立て	9
ペDESTALの加圧	10
ペDESTALの使用	15
サービス	18
全般的なサービス	18
清掃	18
定期的な点検	18
調整	18
部品リスト	22

## 関連するマニュアル

ヴィジョン Ped Plus ペDESTAL  
メンテナンスマニュアルとイラスト付き部品リスト  
部品番号 No. V3951-4990



ヴィジョン Ped Plus スタジオ用ペデスタル ( 図 1 )

---

(1)	100 mm レベリングボールアダプタ
(2)	コントロールバルブ
(3)	セーフティキャッチ
(4)	タンクアセンブリ
(5)	昇降チューブ
(6)	ベルクロスストラップ
(7)	フットサポートとストラップ
(8)	トラックロックピン
(9)	ブレーキ
(10)	固定脚
(11)	スキッドクランプ
(12)	スキッド中央ダイキャスト
(13)	折りたたみ式脚
(14)	ケーブルガード
(15)	ケーブルガード調整ノブ
(16)	外部チューブ
(17)	ストラット
(18)	ボトムクランプ
(19)	オンショットクランプ
(20)	ステアリングリング
(21)	シュレーダーバルブとキャップ
(22)	圧力ゲージ

---

---

## はじめに

ヴィジョン Ped Plus スタジオ用ペDESTALは、携帯型空気圧式カメラマウントで、最大 30kg (66 ポンド) の荷重を支えることができます。伸縮コラムとホイール付スキッドアセンブリで構成されています。運搬の便をはかるため、伸縮コラムとスキッドを切り離すことができます。また、スキッドは折りたたみ可能です。

伸縮コラムは、外部チューブ、昇降チューブ、タンクアセンブリで構成されています。外部チューブは、スキッドの中に取り付けられ、ペDESTALに強度と安定性を与えるために 3 本のストラットが装備されています。昇降チューブは外部チューブに対して上下に摺動し、ペDESTAL使用時の高さを調整することができます。タンクアセンブリは、ペDESTAL上部の可動部品で、荷重に対するバランス力を生成します。また、加圧ポンプとして機能します。

スキッドは、中央のダイカストにキャリングハンドルが付属し、固定脚および 2 本の折りたたみ式脚で構成されています。各脚には、ブレーキ付キャスターホイールとコラムを支持するためのストラップ付フットサポートが付属しています。100 mm (4 インチ) のホイールには、ケールガードとトラックロックが付いているので、ペDESTALのキャスター動作、トラッキング動作、ステア動作が可能です。



---

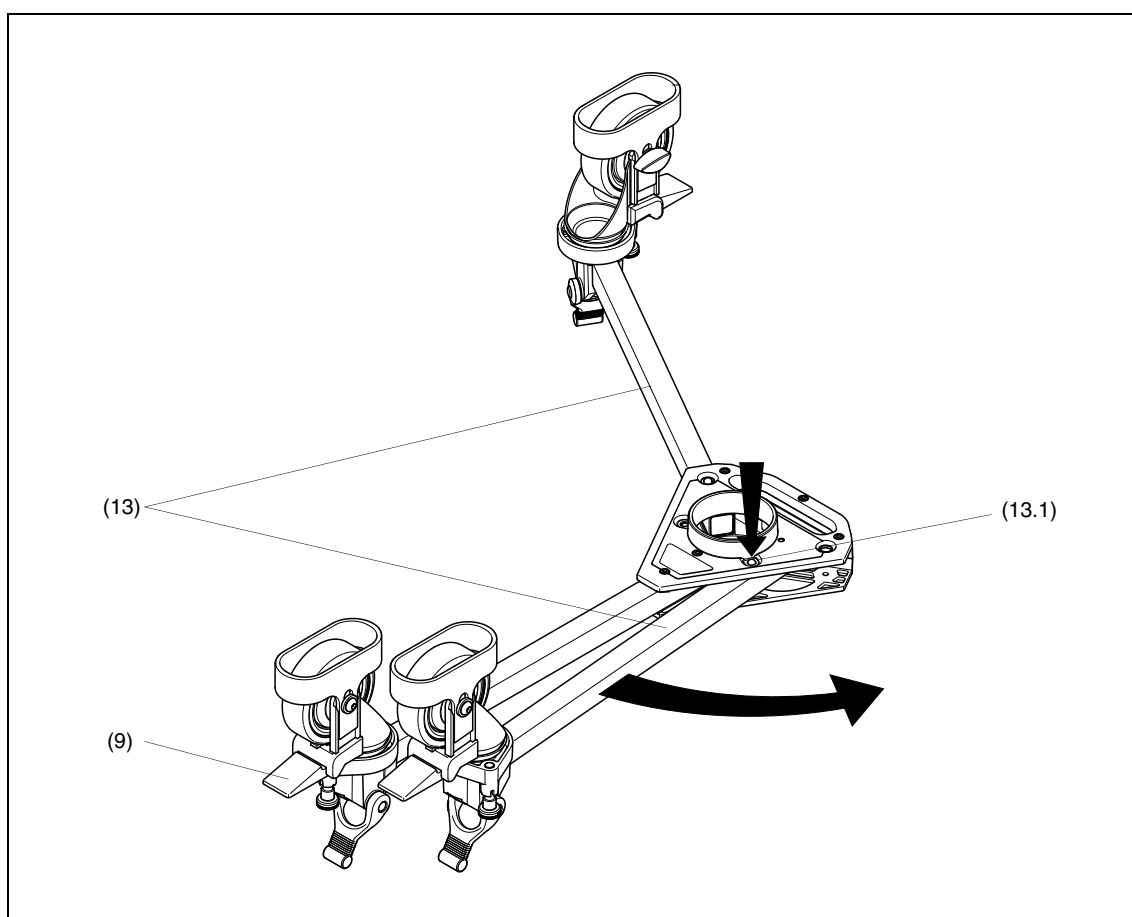
## 操作

### ペDESTルの組み立て

### スキッド

スキッドの上下を反転させ、脚を固定しているプランジャ (13.1) を押し下げます。各折りたたみ式脚 (13) を外側へ回転させ、プランジャによってロックされる位置まで完全に開きます。

ホイールを下にしてスキッドを地面に置き、ホイールブレーキ (9) を掛けます。



スキッド ( 図 2 )

---

## コラム

以下の手順でスキッドにコラムを取り付けます。

スキッドクランプ (11) を完全に緩めます。

コントロールバルブ (2) が、WORK の位置にセットされていることを確認します。

ベルクロ固定ストラップ (6) を外します。

ステアリングリング (20) を上にした状態で伸縮コラムを垂直にし、3本のストラット (17) をほとんど水平になるまで、上方に回転させます。

ステアリングリングを用いてコラムアセンブリを持ち上げ、次に垂直下方に降ろしてスキッド中央のダイカストの中に挿入します。この際、ボトムクランプのノブ (18) とスキッドのハンドルが、同じ方向を向くようにします。ストラット (17) をフットサポート (7) に取り付けます。

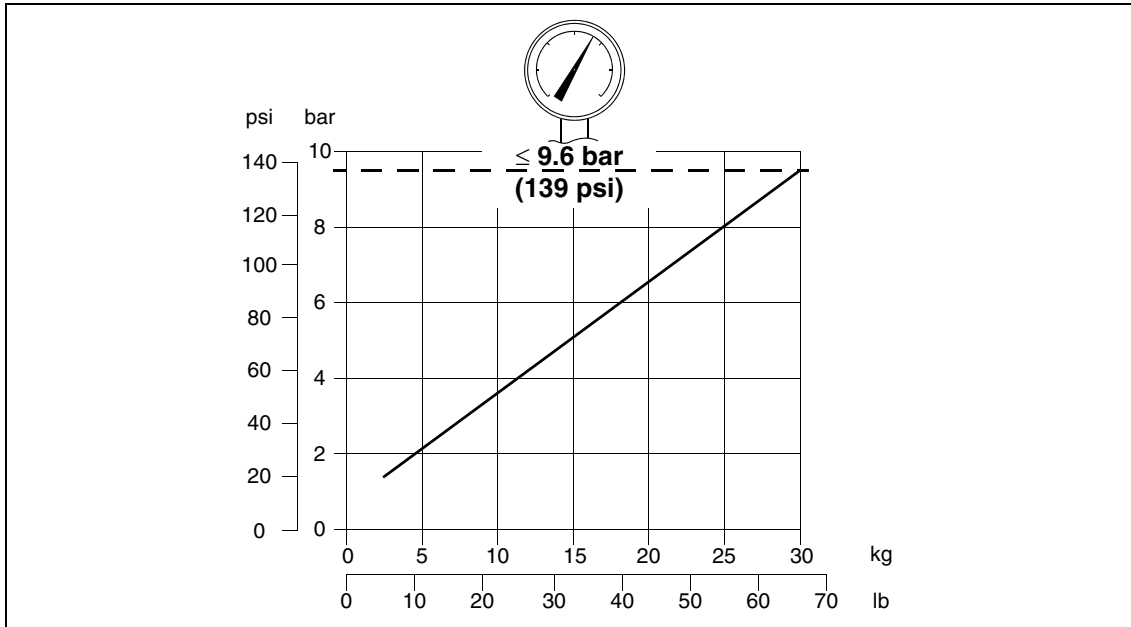
各ストラットをゴム製ストラップでフットサポートに固定します。適切な締め付け圧でスキッドクランプ (11) を締め付けます。

ベルクロ固定ストラップ (6) をスキッドのホイールから離して固定します。

## ペDESTタルの加圧

ヴィジョン Ped Plus ペDESTタルは、内蔵ポンプやヴィンテンポータブルポンプ、外部の圧力源を使用して加圧することができます。

ペDESTタルに取り付ける荷重（荷重 = パン & チルトヘッド、カメラ、レンズおよびすべての補助機材）を確認します。グラフ（図 3）を参照して、横軸上に荷重をマークし、そこから、垂直方向に直線を引きます。荷重に対するガス圧を示す直線との交点から縦軸に向かって水平線を引き、必要なガス圧を読み取ります。



ペDESTALの加圧 (図 3)

#### 内蔵ポンプを使用してペDESTALを加圧する



**警告 !:** ゲージの赤色表示の前縁で示されている最大安全動作圧力を超えてペDESTALを加圧しないでください。ペDESTALには、過剰な加圧を防ぐために圧力リリーフバルブが取り付けられています。圧力リリーフバルブの調整は行わないでください。ポンプで加圧する前に、荷重を取り外してください。

内蔵ポンプを使用してペDESTALを加圧するには、以下の手順に従います。

- コントロールバルブ (2) を PUMP 位置にセットします。
- ボトムクランプ (18) が掛かっていることを確認します。
- 荷重が取り付けられている場合には取り外します。
- オンショットクランプ (19) を緩めます。
- ステアリングリング (20) を残圧に抗して押し下げ、セーフティキャッチ (3) を解放します。セーフティキャッチを水平位置にセットします。
- ステアリングリング (20) を使用して、上段部を完全に伸びきるまで持ち上げます。上段部を、全ストローク上半分の行程だけ上げ下げし、加圧を始めます。圧力ゲージ (22) が

---

圧力を表示し始めたら、上段部を全ストロークにわたり上げ下げして加圧します。ポンピングを行っている間に必要な動作圧に達したら、動作を停止します。

---



**警告 !:** コントロールバルブが WORK にセットされていると、ペDESTALの圧力が急に上昇します。コントロールバルブを PUMP から WORK へ直接動かさないでください。

---

コントロールバルブ (2) を PUMP と WORK の間の中間の位置にセットし、上段部を完全に上昇させます。

コントロールバルブ (2) を WORK 位置にセットします。

カメラマウントおよび荷重を取り付け、下記のように荷重のバランスを調整します。

## ヴィンテンポータブルポンプを使用してペDESTALを加圧する

---



**警告 !:** ゲージの赤色表示の前縁で示されている最大安全動作圧力を超えてペDESTALを加圧しないでください。ペDESTALには、過剰な加圧を防ぐために圧力リリーフバルブが取り付けられています。圧力リリーフバルブの調整は行わないでください。

---

ヴィンテンポータブルポンプを使用してペDESTALを加圧するには、以下の手順に従います。

可動コラム (4) を完全に押し下げ、セーフティキャッチ (3) をかみ合わせます。

ポンプ (図 4) の脚 (P.3) を両方とも下ろします。

ハンドルのリリースボタン (P.5) を押し、ハンドル (P.1) を水平の位置まで動かしてロックします。

ホース (P.4) を取り付けてある位置 (P.2) から取り外します。ホースをペDESTALの給圧バルブ (21) に接続します。

脚の間にポンプを置き、両足をポンプの脚 (P.3) の上に置いて立ちます。

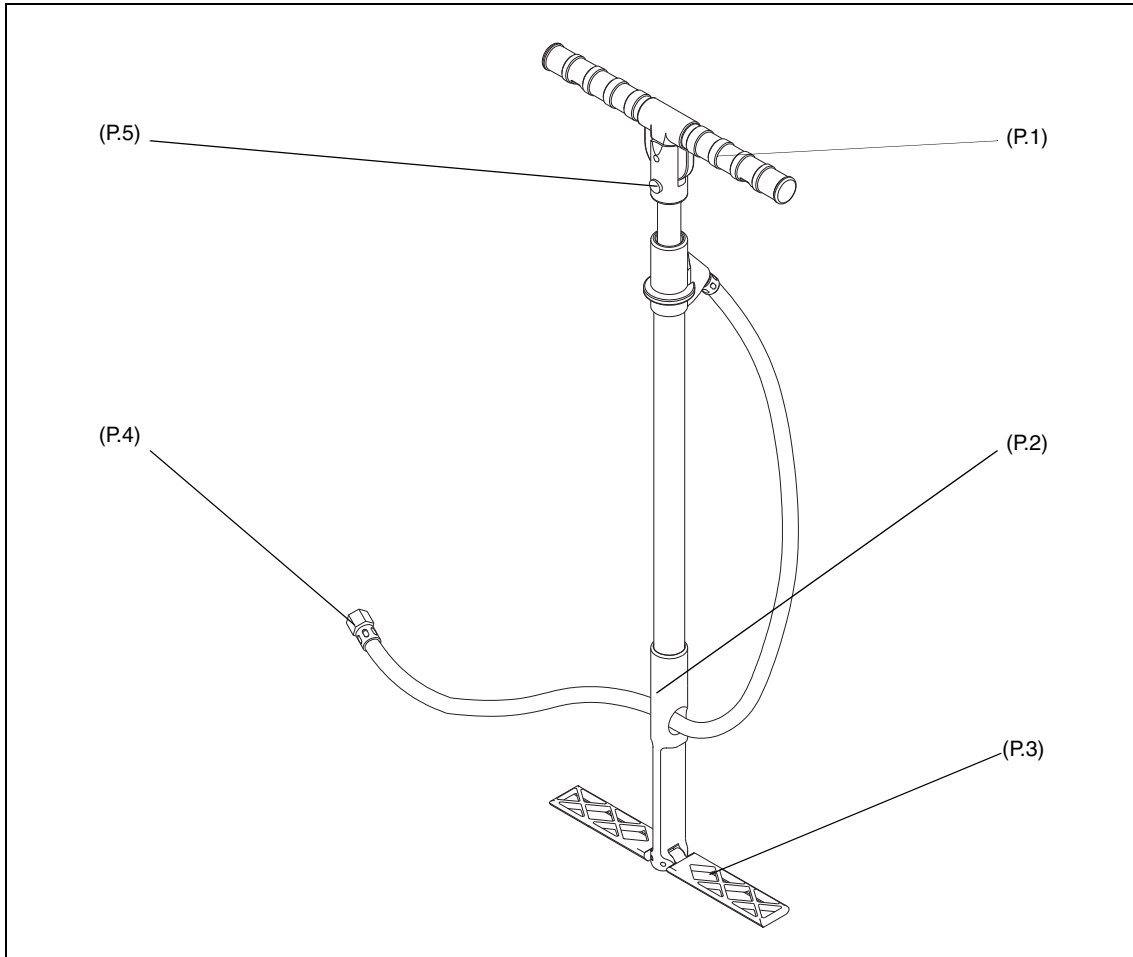
ハンドル (P.1) を両手で握り、ストロークいっぱいに動かして、ペDESTALを必要な圧力まで加圧します。ゲージ (22) の赤色表示の前縁で示されている最大安全動作圧力を超えないようにしてください。

ホース (P.4) をペDESTALの給圧バルブから切り離しますが、この段階ではシュレダーバルブキャップを取り付けしないでください。ホースを取り付けてあった位置 (P.2) に戻します。

ポンプのプランジャを完全に押し下げ、ハンドルのリリースボタン (P.5) を押し、ハンドル (P.1) を垂直になるまで回転させます。この位置で、ハンドルは閉じた状態のプランジャをロックします。

両方の脚 (P.3) を折りたたみます。

---



( 図 4 )

## 外部の圧力源を使用して加圧する



**警告 !:** このペダスタルは、清浄で乾燥した空気または窒素のみを使用して加圧しなければなりません。ガスシリンダとホースの出力側との間の圧力を調整するために、減圧バルブを取り付ける必要があります。減圧バルブは、ガスシリンダの出口にネジ止めしなければなりません。減圧バルブの排気側の最大圧は、9.6 bar (139 psi) を超えてはなりません。ゲージの赤色表示の前縁で示されている最大安全動作圧力を超えてペダスタルを加圧しないでください。ペダスタルには、過剰な加圧を防ぐために圧カリリースバルブが取り付けられています。圧カリリースバルブの調整は行わないでください。

---

外部の圧力源を使用してペDESTALを加圧するには、以下の手順に従います。

可動コラム (4) を完全に押し下げ、セーフティキャッチ (3) をかみ合わせます。

シュレーダーバルブキャップ (21) を取り外し、圧力源の給圧系統を接続します。

圧力源を起動し、ペDESTALの圧力を必要な圧力までゆっくりと加圧します。ゲージ (22) の赤色表示の前縁で示されている最大安全動作圧力を超えないようにしてください。

給圧系統を切り離しますが、この段階ではシュレーダーバルブキャップを取り付けしないでください。

## 荷重の取り付けおよびバランス調整

ペDESTALの加圧が完了すると、カメラマウントと荷重の取り付けおよびバランス調整を行うことができます。



**警告 !:** カメラマウントと荷重の取り付けは、可動コラムを押し下げ、セーフティキャッチをかみ合わせた状態で行います。

---

---

ヴィジョン Ped Plus には、100mm のボールマウントが装備されていますが、取り外して標準的な 4 ボルト型取り付けプレートを使用することもできます。

カメラマウントを固定したら、以下の手順に従います。

荷重を、完全に押し下げた状態のペDESTALの上段部に取り付けます。パンバー、プロンプタ、レンズなどのすべての部品が取り付けられていることを確認します。後からこれらの部品の取り付けると、ペDESTALのバランスが崩れる場合があります。

ステアリングリング (20) を残圧に抗して押し下げ、セーフティキャッチ (3) を解放します。セーフティキャッチを水平位置にセットします。コラムを完全に伸ばします。

シュレーダーバルブキャップ (21) を使用して、0.15 ~ 0.20 bar (2 ~ 3 psi) 刻みで慎重に減圧し、荷重を正しくバランスさせます。正しく加圧されたペDESTALは、オンショットストローク全体のどの位置へも最小の力で荷重を動かすことができ、ステアリングリングを離れたときにその位置が維持されるようにバランスを保つことができます。



**警告 !:** シュレーダーバルブキャップ (21) は、重要な封圧材です。必ずキャップを元に戻し、指先でネジを締め付けてください。

---

## ペDESTALの使用

### 高さの調整

#### 下段部

昇降チューブ (5) は、ペDESTAL高さ調整機構の下段を構成しており、434 mm (17.1 インチ) の可動範囲があります。ペDESTALに荷重が搭載されている際の昇降がしやすいよう加圧されています。高さの調整は、以下のように行います。

上段部 (4) を下げ、セーフティキャッチ (3) をかみ合わせます。

ステアリングリングを保持して荷重の重量を支え、赤いノブを反時計回りに回してボトムクランプ (18) をゆるめ、下段部が自由に動くようにします。

ステアリングリングを使ってコラムを必要な高さにセットし、ボトムクランプ (18) を締めます。

#### 上段部

コラム上段部のオンショットストロークは 410 mm (16.1 インチ) で、ステアリングリングを上下することによって、バランスを保ったまま荷重をこの距離の中で移動させることができます。

ペDESTALには、上段用のクランプ (19) が付いています。高さを固定して操作を行う必要がある場合、このクランプを用いて上段部を定位置に保持することができます。クランプを効かせた場合はクランプレバーを時計回りに回し、解放する場合には反時計回りに回します。

### ブレーキ

各スキッドホイールには、脚で操作できるブレーキ (9) が付属しています。ブレーキは、ホイール上部にあるレバーを押し下げると作動し、中央の「ポップアップ」レバーを押し下げると解放されます。この「ポップアップ」レバーは、ブレーキがかかっている場合に上がった状態になっています。



**警告 !:** ペDESTALを無人の状態に置く場合には、常にブレーキをかけておきます。

---

### ケーブルガード

ケーブルガード (14) は高さの調整が可能となっており、必要に応じて使用します。調整はノブ (15) を緩めて行い、ケーブルガードを必要な位置に移動させてからノブを再度締め付けます。

### ペDESTALの移動

スタジオバージョン用スキッドのホイールは、直進する位置にロックするか、キャスターに設定することができます。キャスター/ロックの切り替えは、各ホイールアセンブリに取り付けられたスプリング付きトラックロックピン (8) で行います。折りたたまれた脚に付けられたこ

---

---

のピンには黒色のノブがあり、固定された脚のピンには赤いノブがついています。ピンの取り付けまたは取り外しを行うには、ピンをスプリングの力に対抗して引き出し、90°回転させます。ピンは、ホイールが正しい位置にある時にだけセットすることができます。この操作によって、キャスト、トラッキング、ステアの各動作を行うことができます。

---



**警告 !:** 特に平らでない面の上を移動させるときに安定性を最大限保つために、ペDESTALの高さを最低にしてください。

---

### キャスト動作

キャスト動作を行うには、3本のトラックロックをすべて取り外します。スキッドを任意の方向に自由に動かせるようになります。

### トラッキング動作

トラッキング動作を行うには、3本のトラックロックをすべて取り付けます。スキッドを、前後の直線方向にのみ動かすことができます。

### ステア動作

ステア動作を行うには：

移動する方向に固定脚（赤いノブのついている脚）が向くように、スキッドを配置します。赤いトラックロックを取り外します。

黒色のトラックロックを取り付けます。

前面を向いたスキッドの固定脚が動いて、「ステアリングタイプ」のような動作をします。

### 運搬と保管



**警告 !:** 加圧したペDESTALの運搬と保管には、地域、国または国際的な規制が適用されることがあります。

---

**メモ :** 運搬または保管する前には、ペDESTALの圧力を下げる必要はありません。ほこりなどが可動部品上に付着しないように、コラムを最も低い位置にします。

---

運搬と保管の便をはかるため、コラムとスキッドを切り離すことができます。

コラムとスキッドを切り離すには：

上段部 (4) を下げ、セーフティキャッチ (4) をかみ合わせます。

昇降チューブ (5) を止まる位置まで下げます。

---



---

ボトムクランプ (18) を締め付けます。

荷重を取り外します。

スキッドクランプ (11) とゴム製固定ストラップ (7) を解放します。ストラットをフットサポートから離して持ち上げます。

ステアリングリングを使って伸縮コラムを垂直に持ち上げ、スキッドアセンブリから離します。次に、固定ストラップでストラットを固定します。



**警告 !:** コラムは自身の台座、あるいは折り畳んだ状態のストラットで立っている場合は、不安定になります。

---

スキッド下側にある脚固定用プランジャをそれぞれ押し下げて、脚を折りたたみます。

---

# サービス

## 全般的なサービス

ヴィジョン Ped Plus ペDESTALは、高度な技術基準でしっかりと製造されており、簡単な清掃を定期的に行うだけでメンテナンスに注意を払う必要はほとんどありません。長く修理をしないで使用していただくために、以下の点についてご注意ください。

## 清掃

スタジオでの通常の使用では、不織布で定期的に拭き取りを行うだけで結構です。保管中または使用しなかった期間にたまったほこりは、堅すぎないブラシを使って取り除きます。コラム上段の平面部については特に注意してください。

---

**メモ：コラムの露出した面に、オイルまたはグリスを使用しないでください。潤滑は不要であり、摩耗の原因となる塵埃が付着します。**

---

不安定な条件の野外で使用する場合、特に厳しい環境で使用するときには注意が必要です。塩水がかかった場合は、できるだけ早く真水で洗い流してください。コラム内に水が入らないようにしてください。砂やほこりによって部品がすり減ることがありますので、堅すぎないブラシか掃除機を使用して取り除いてください。

---

**メモ：洗剤だけを含むクリーナを使用してください。製品の表面を傷つけるため、溶剤や油性クリーナ、研磨剤やワイヤブラシを使用してたまったほこりを取り除かないでください。**

---

## 定期的な点検

通常の使用時には、以下の点を確認してください。

ゴム製固定ストラップは経年劣化やクラックの発生の有無を確認し、必要に応じて交換してください。

クランプの効果を確認してください。

スキッドのトラッキングを確認してください。

上段部の回転方向および横方向の遊びを確認してください。

## 調整

長期間使用した後に必要となる調整には、以下のものがあります。

ボトムクランプの摩耗の調整。

トップクランプおよびスキッドクランプの摩耗分の調整。

スキッドのホイール調整。

上段部の回転方向および横方向の遊びの縮小

## ボトムクランプの調整

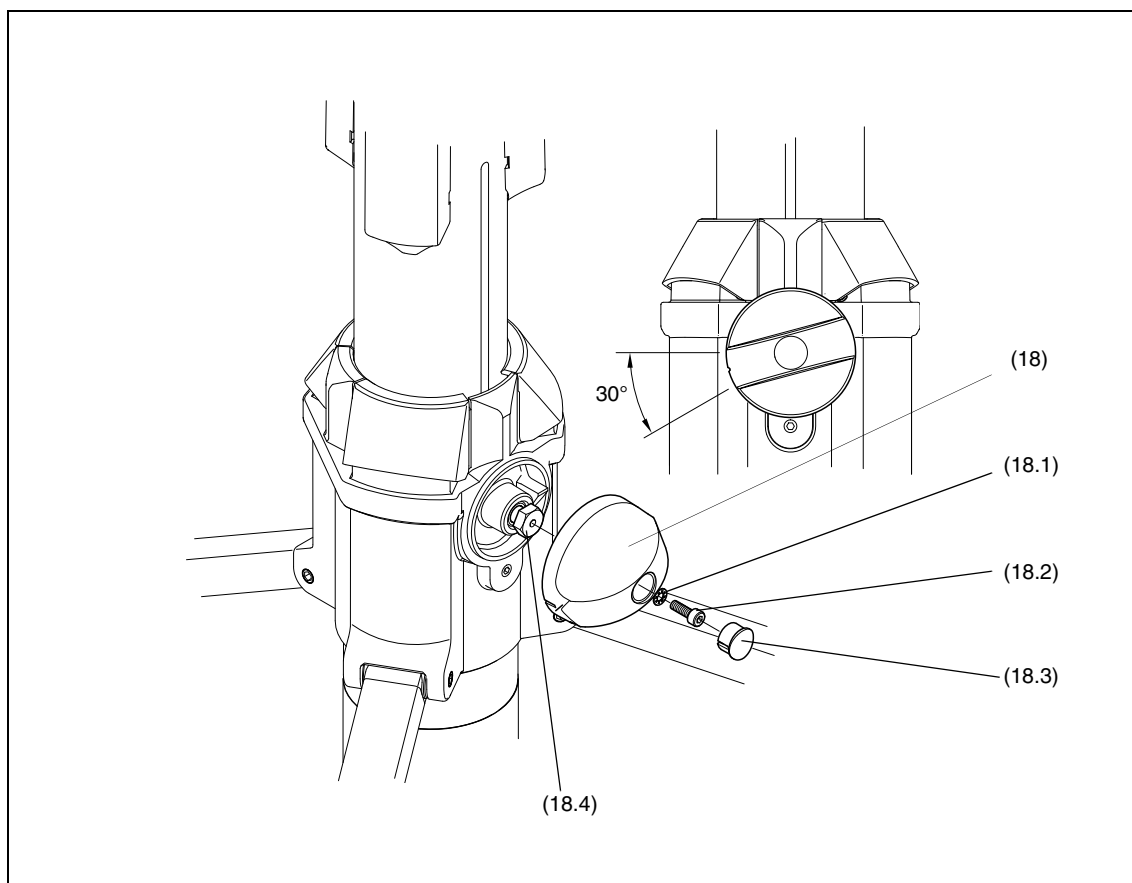
指で締め付ける際、ボトムクランプノブ (18) の「V」ノッチが見えるようにします。ボトムクランプを調整するには：

ネジカバー (18.3) を取り外します。ノブ (18) をスピンドル (18.4) に固定しているネジ (18.2) とワッシャー (18.1) を取り外します。

ノブを取り外し、スピンドル (18.4) を時計回りに指で強く締まるまで回します。

ノブ (18) をスピンドル (18.4) に戻し、クランプノブの「V」ノッチが見えるようにします。

ネジ (18.2) の油を除去してロックタイト 222E を塗布し、ノブをワッシャー (18.1) とネジ (18.2) で固定します。ネジカバー (18.3) を元に戻します。



ボトムクランプの調整 ( 図 5 )

---

## トップクランプとスキッドクランプの調整

### (図 1)

トップクランプ (19) とスキッドクランプ (11) は、ハンドルを時計回りに回すと作動し、反時計回りに回すと解放されます。ハンドルは両者とも、押すと掛かり引くと外れるラチェット機構になっています。

トップクランプとスキッドクランプの調整を行うには、クランプハンドルをスピンドルから引き起こし、時計回りに回して解放します。

クランプが、作動させたときには適切に効き、解放したときには自由に動かせる状態になるまで、この手順を必要に応じて繰り返します。

## スキッドのトラッキング

### (図 6)

長期間使用した後に、スキッドのトラッキング調整が、必要になる場合があります。トラッキングは以下の方法でチェックします：

トラックロックをセットして荷重を取り付け、スキッドを直線に沿って 3.6m (12 フィート) 動かした時に、ずれが 5cm (2 インチ) を超えてはなりません。この基準を満たしていない場合は、ホイールの再調整が必要です。ホイールを再調整する場合には、まず、固定脚の赤いロックノブを使用してホイールの調整を行います。これによって、通常は配置の問題を調整することができます。

スキッドの配置を再調整するには：

スキッドからコラムを取り外します。

各キャスターについて、トラックロック (8) を掛けます。

固定脚のフットサポート (7) から 2 本のネジ (7.1) を取り外し、次にフットサポートを取り外します。

適切なスパナを使用してナット (8.1) を取り外します (ヴィンテン部品番号 3319-900SP のスパナが適しています)。

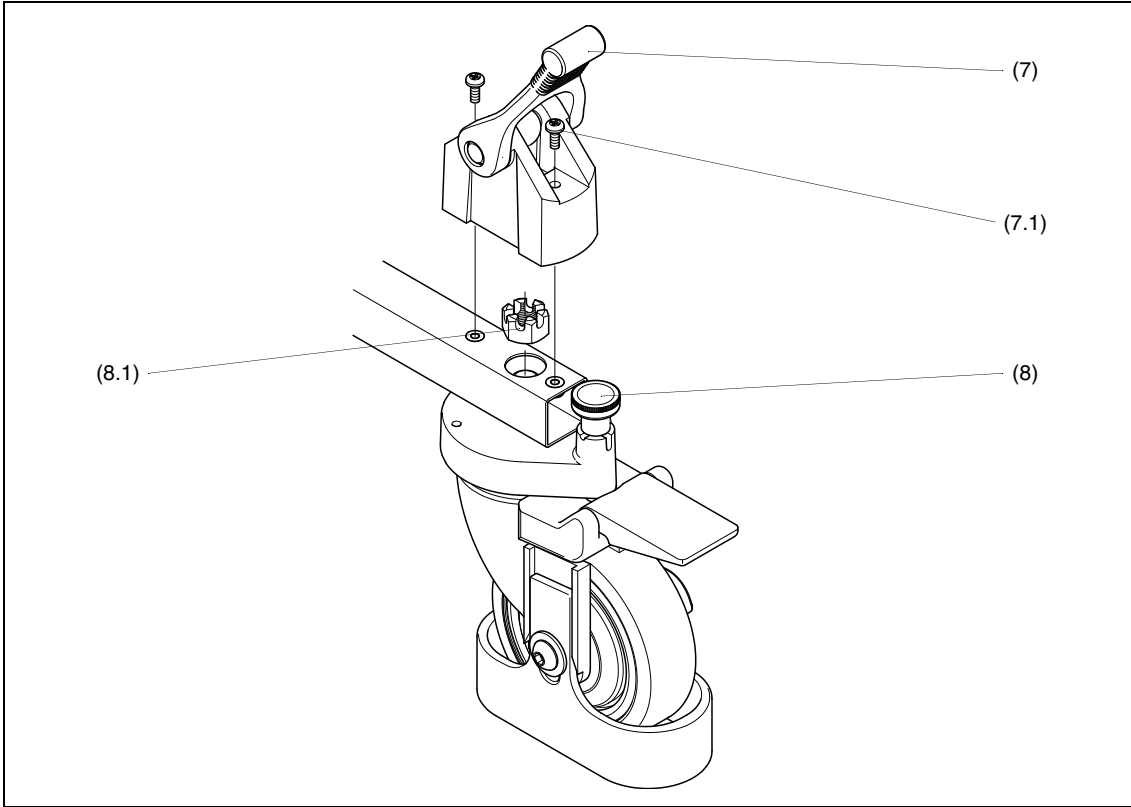
ナットにロックタイト 242 を塗り、元の位置に戻して軽く締め付けます。

固定脚上のホイールが脚と平行になるように位置を合わせます。

スタジオの床の適切な直線を使用して、3.6m (12 フィート) でずれが 5cm (2 インチ) を超えないことを確認します。上記の状態になるまで調整を行います。調整できない場合には、他の 2 本の脚のホイールを調整する必要があります。

ホイールが正しく調整されたら、ナット (8.1) を締め付けます。

各脚にフットサポート (7) を取り付け、2 本のネジ (7.1) で固定します。



スキッドのトラッキング (図 6)

### 昇降チューブあるいは上段部の回転方向および横方向の遊びの縮小

昇降チューブあるいは上段部の回転方向または横方向の遊びが大きすぎる場合には、メンテナンスマニュアルの該当するセクションを参照してください。調整は、資格を持つ担当者が行います。

---

## 部品リスト

以下のリストには、主要部品、ユーザーが交換可能なスペア部品およびオプションのアクセサリが記載されています。修理用または交換用部品についての詳細な情報は、Vinten Broadcast Limited または地域の販売店にお問合せください。

オンライン情報については、弊社の Web サイトをご覧ください。

[www.vinten.com](http://www.vinten.com)

### 主要部品

ヴィジョン Ped Plus スタジオペDESTAL	V3951-0001
コラム	V3951-1000
スタジオスキッド	V3955-0001
100 mm レベリングボール	3330-16

### オプションのアクセサリ

ヴィンテンポータブルポンプ	3357-3
---------------	--------